



「自己への挑戦、他への貢献」

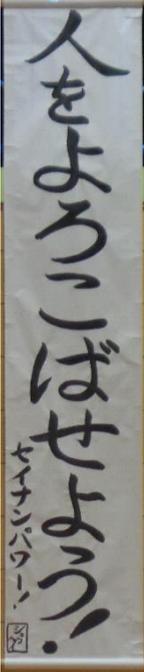
これは、昨年度の大山校長先生による学校教育目標の合言葉です。私はこの言葉にとっても共感しました。以前から学校教育目標にするなら、このような内容がいいなあと考えていました。

「だれかのために自分のためにいっしょうけんめい」前年度の西南小の魂を引き継ぎながら、「他への貢献」、つまり「だれかのため」を優先したいと考えました。そうして半年、西南小の子どもたちが「だれかのため」にいっしょうけんめい「な姿を、日々見せてくれるようになりまし

た。実は前期終業式の直後に、ある児童が担任の先生と共に私のもとへ来てくれました。カラスが散らかした学校近くのゴミステーションの様子を見かねて、下校途中に片付けた児童でした。こうした善行があったことは地域からのお礼の電話で知っていたものの、会えていませんでした。「ほくです」と、はにかみながら来てくれたことが、うれしくてたまりませんでした。

以前、朝から掃除やゴミ拾いをして私に、「いつもありがとうございます」と声をかけてくれる児童のことをお伝えしたと思いますが、おそらくそれを読まれた保護者の方々が我が子にお声かけくださったからだと思いますが、以来多くの子どもたちが「ありがとうございます」等の声かけをしてくれます。その更なる効果だと思いますが、九月の末頃に公園で掃除をされている地域の方に、「いつもありがとうございます」と声をかけた本校児童がいたので、「今までそんなこと無かったからうれしくて：涙が出ました」と、その方はわざわざ学校までお礼を言いに来られましたと、教頭がうれしそうに報告しました。(不在でいつも好機を逃す校長)

こうして、「うれしい気持ち」や「よろこび」は、想像以上に次から次へと伝播します。そして、相手がよろこべば、自分もよろこびを感じるものです。だから後期の重点目標を、



にしました。もっと「よろこび」を感じたいのです。＼

後期始業式に何を話すか、秋休みの間ずっと考えていました。子どもたちの心に響くような、子どもたちの度肝を抜くような、「あっ」と驚くような：、子どもたちからの「大谷翔平」への期待を考えると妥協はできません。

ひらめいたのは始業式当日の朝五時半。飛び起きて着替え、まだ寝ている中一の次女をたたき起こして無理矢理墨汁を借り、毎日バス停に送っていかねばならぬ高校生の長女をほったらかし、準備のために早々に学校へと向かいました。

そうして作成した「人をよろこばせよう！」の垂れ幕を、計画が成功したときの子どものたちの反応を想像し、ニヤニヤしながら体育館にセットした後、何食わぬ顔で校門指導に出て、度肝を抜いてやろうとたくらんでいたのです。



ひもを引っ張れば、垂れ幕がバーンと開く仕組みでしたが、実験も何もしていませんので成功するかどうかもわかりません。最悪途中で引っかかって、その失敗で子どもたちは沸くでしょう。そのための布石を入れる予定もあります。終業式では話がちょっと長引いたことを反省し、今回は遅くとも三分で終わる計画でした。とにかく、後期の重点目標を、瞬間的に全校児童に印象づけることが最大の目標でした。

その過程が上記の四コマ写真です。飛び込みアシスタントをしてくれた六年生児童のおかげで、見事成功しました。垂れ幕はバーン！と勢いよく開きました。盛大な歓声と拍手が体育館内に響きました。私はしたり顔で全校児童に読ませました。

「ひらめき！ ぶんげいせつやく！」

こうして話を終えました。いやあ満足です。その時の子どもたちの反応にとっても満足しました。

「よろこび」の伝播をこれからさらに広げていくために、そうしてそれぞれが自己肯定感をさらに高めていくために、この重点目標を全校児童と職員に心に刻むことができたと思います。多分。

～お知らせ～
 ○八月から本校で勤務しておりました坂口養護助教諭ですが、家庭の事情により前期をもって退職いたしました。短い間でしたが、保護者の皆さまのご協力・ご支援に厚く感謝申し上げます。なお、代替職員については、決定次第お知らせいたします。
 ○[6年生保護者の皆さまへ] いよいよ15日(日)から修学旅行です。修学旅行の様子を、10:00、14:00、18:00(時間は目安です)に、本校ホームページブログ(下記URL タップすると移動します)にて掲載予定です。ぜひご覧ください。
<https://es.higo.ed.jp/nishigoushis/>